

戦没者遺骨収集における同位体比分析の活用に係る検討会の開催について

1. 目的

戦没者遺骨収集において収集した遺骨の年代測定・所属集団判定のために同位体比分析を活用する具体的方法や、活用にあたっての課題等を議論・検討するために、大臣官房審議官（社会、援護、人道調査、福祉連携担当）のもとで「戦没者遺骨収集における同位体比分析の活用に係る検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

2. 構成

- (1) 検討会の構成員は別紙のとおりとする（同位体比分析等の専門的知識を有する者）。
- (2) 検討会に座長を置き、座長は大臣官房審議官（社会、援護、人道調査、福祉連携担当）が指名する。

3. 運営

- (1) 検討会は、原則としてW e b会議形式で開催する。
- (2) 検討会は、公開することにより率直な意見の交換が損なわれるおそれがあるため非公開とする。
なお、検討会終了後、可能な範囲で資料を公表し、議事要旨をホームページにおいて公開する。
- (3) 検討会の庶務は、社会・援護局事業課において行う。

4. その他

このほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が大臣官房審議官（社会、援護、人道調査、福祉連携担当）と協議の上、定める。

戦没者遺骨収集における同位体比分析の活用に係る検討会 構成員

(五十音順、敬称略)

いしだ はじめ 石田 肇	琉球大学医学部長（教授）
がくはり たかし 覚張 隆史	金沢大学国際文化資源学研究中心-助教
そめだ ひでとし 染田 英利	社会・援護局事業課鑑定調整室事業専門官 （併）防衛医科大学校防衛医学研究中心-付 （兼）琉球大学非常勤講師
たやす いちろう 陀安 一郎	総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター 教授
よねだ みのる 米田 穰 ○	東京大学 総合研究博物館放射性炭素年代 測定室教授

注) ○は座長